

人事改革

変化を読み解く

キーワード

テンプトゥパーム

定義：労働者を一定期間派遣就業させ、契約終了後派遣先会社と本人との確認のうえで雇用契約を結ぶこと

雇用のあり方に大きな変化が起これり始めています。企業が社員を補充する場合、いままでは正社員が中心でしたが、契約社員、派遣社員、アルバイト、請負など、固定的でない社員の雇用が増える傾向にあります。とくに人材派遣は、これまで事務部門で活用するものというイメージが強かったのですが、法律の改正により、より幅広い分野での活用が求められたことから、事務だけでなく営業や製造業務など、さまざまな分野で多用されるようになってきました。

企業側も重要なノウハウをもつ社員や管理職などの判断業務を行う社員以外には、「基本的には、固定的な社員中心である必要がない」と認識

正社員のイスを確保する秘訣

トランスラクチャ
代表取締役・CEO
林 明文



し始めています。コアとなる部分には固定的な社員を張り付け、そのほかの部門では派遣社員等を活用することによって、業績の変動にに応じて、人件費を変動できるような仕組みが望ましいからです。

最近よく聞く「人材ポर्टフォリオ」という言葉には企業に必要な人材を正社員、契約社員、派遣社員、アルバイト、アウトソーシングなどのベストの組合せを実現するという意味があります。ポर्टフォリオ的な考え方が進行していくに従って、雇用のあり方は今後、正社員が中心ではなくなるとともに、働く側についても正社員指向だけでは仕事を得られなくなるという現実が進行してきます。

今後は企業もコアの業務を担う正社員の採用には、非常に慎重になるでしょう。正社員を採用することは、人件費の固定費部分が増加することを意味するほか、業績の貢献が少ないなど期待以上の成果があげられない人材でも容易に解雇することができないというムダを生むおそれがあるからです。

採用する際の基準も高くなってきています。とりわけ管理職クラスの場合は、非常に慎重で厳格な審査が行われる傾向にあります。

また、最近ではすぐに正社員で採用するのではなく、一定期間派遣社員として雇い、働きぶりや適性を確認したあとに、正社員として採用する方法がみられるようになってきました。これを紹介予定派遣（テンプトゥパーム）といいます。

正社員を雇用するケースが少なくなっていくのもちろんのこと、これからはまずは一定期間派遣社員として働くことが、正社員として雇われる前提になっていくと予想されます。ですから、転職し新たなキャリアを獲得しようとする人は、すぐに正社員として採用する企業だけではないということ、一定期間派遣として働かなければ正社員となれないケースが増えていることを覚悟しなければなりません。半面、一定分野の専門知識や能力がある人の場合には、正社員として雇用されることが本心に好ましいとは必ずしもいえないことにも留意したいものです。

いままでは企業は安易に正社員を採用してきた傾向があります。また働く側も「正社員指向」が強すぎたともいえます。まずは、転職する場合には、自分の知識や能力を実際に示すことによって、自分の正社員の位置を確保しなければならぬということを確認すべきでしょう。